

栃木森林認証協議会 第11回通常定時総会 及び森林認証管理者講習会

県内で森林認証制度*の普及と活用を促進している栃木森林認証協議会が、平成30年7月23日に11回目となる通常定時総会を日光市で開催し、当協会事務局も参加しました。

(当協会の齋藤会長が、森林認証協議会会長も務めています。)

1 通常定時総会

江連比出市副会長の挨拶の後、昨年度の事業報告や決算、今年度の事業計画や予算、役員改選について審議しました。

いずれの議案も原案どおり可決・成立しました。

2 森林認証管理者講習会

総会の終了後、同会場において管理者講習会が開催されました。

県内の森林認証関係者はもとより、各地の森林組合や製材業者、市町関係者など、大勢の参加がありました。

日光市における森林認証普及に向けた取組状況や、森林組合で行われているFM認証(森林管理の認証)の管理手法、製材工場から見た認証材の販路拡大への課題等について講演があり、協議会事務局の宇都宮大学松英准教授から、森林認証制度を取り巻く国内と世界の現状や今後の課題等について解説がありました。



多くの参加者が熱心に聞き入っており、森林認証制度に対する注目度の高さを感じることができました。

※森林認証制度：適正で持続的な管理がなされている森林から木材を生産し、その木材を消費者のもとに確実に届けるため、民間の第三者機関が生産・加工・流通の各段階を審査・認証する制度。SGECやFSC等の認証制度がある。